

プレビューシステム

[目的]

PC 画面上で本編、CM 枠などを指示し、VTR のタイムコード値を RS-422 回線のオンラインで取得し、枠長を自動計算することにより、番組テーププレビュー作業の効率化、正確性向上を図ります。

[特長]

1. PC は、VTR と1対1で接続され、番組、CM 各枠の開始点を確認した段階でキーボードのファンクションキー(F1～F9)、メニュー、またはボタンより指示することによりタイムコードを取得、イベントを作成し画面に表示します。
2. プレビューシート上には各枠の開始点のタイムコードの他、スーパーのタイミングや見直しを指示する REVIEW を付加することができます。
3. プレビュー開始時の頭出しや、見直しの為のキューアップは、画面上の指示で自動的に行われます。
4. PV データフォルダを共有フォルダ設定することで、端末の増設、EDPS との連携が図れます。
5. 既存 PV データ、または放送フォーマットの PV データを雛形として用いることが出来ます。

放送日: 2006/10/19 木 番組枠: 19:00 ロール: 1 CAS ID: CAS-0007 音声モード: サラウンド 担当者: 山田 太郎 PV日: 2006/10/17 火 VTR: V-2

タイトル: ビジネス論 第 回: AAA-01 サブタイトル: 企業戦略

SOM: 01:00:00:00 DUR: 00:28:00 EOM: 01:28:00:02 メモ: HDVSI収録、編集 10/1再放送

No	タイムコード	スタート時刻	継続時間	種別	OL	V	A1	A2	コメント
01	01:00:00:00	00:00:00	00:00:05	本編	Slide	AF	AF		オープニング
02	01:00:05:00	00:00:05	00:07:55	本編	Slide	V	V		タイトル映像差し替え
03	01:00:20:00	00:00:20		SP_ON	10				再放送のスーパー (10秒)
04	01:00:30:00	00:00:30		SP_OFF					
05	01:08:00:02	00:08:00	00:02:00	CM	CM	CM	CM		
06	01:10:00:00	00:10:00	00:08:00	本編	V	V	V		
07	01:15:37:00	00:15:37		REVIEW					ノイズ有り 要確認
08	01:18:00:02	00:18:00	00:02:00	CM	CM	CM	CM		
09	01:20:00:00	00:20:00	00:08:00	本編	V	V	V		
10	01:27:00:02	00:27:00		SP_ON	10				再放送のスーパー (10秒)
11	01:27:10:00	00:27:10		SP_OFF					
12	01:28:00:02	00:28:00		END					

総時間: 本編 00:24:00 CM 00:04:00

レディ NUM

[プレビュー操作]

以下に操作の一例を示します。

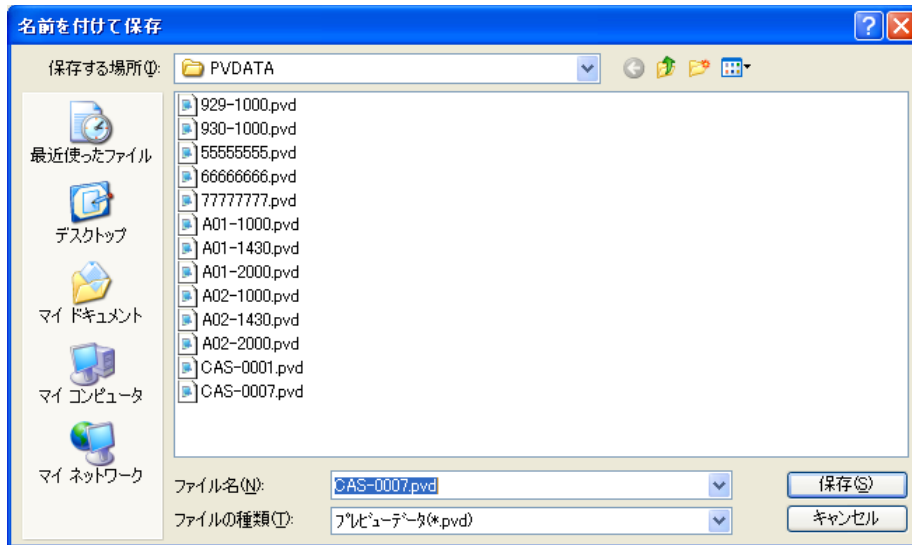
1. 放送日など項目の入力を行います。
2. ショー点にテープを頭出しして[GET SOM]ボタンをクリックします。VTR から取得したタイムコードが SOM に反映されます。

イベント編集(E)	VTR(M)	表示(V)	設定(S)
本編追加(H)			F1
CM追加(C)			F2
提供追加(T)			F3
OP追加(O)			F4
SP_ON追加(X)			F5
SP_OFF追加(Y)			F6
REVIEW追加(P)			F7
END追加(E)			F8
GET TIMECODE(G)			
GET TIMECODE & NEXT EVENT(W) F9			
追加(A)			
変更(R)			
削除(D)			

本	CM	提	OP	SP	SP	RV	END	GET	GET	ADD	REV	DEL
				ON	OFF			TC	NEXT			

3. [PV 開始]ボタンをクリックします。
指定された SOM の 3 秒前にテープが頭出しされ、PLAY します。
[追加]、[変更]ボタンなど編集のコマンドが有効となります。
4. VTR が PLAY のまま、または手動で Jog/Shuttle などの操作を行い、各キー、メニュー指示またはツールボタンを押し、タイムコードを取得、イベント作成を行います。
5. 最後のポイントに来たら[F8]キー、メニューの END 追加、またはツールボタンの END を押します。
その時取得したタイムコードが EOM に反映、DUR も表示されます。
VTR には STOP コマンドが発行されます。
[追加]、[変更]ボタンなど編集のコマンドが無効となります。

- メニューの[ファイル]-[名前を付けて保存]を指示します。
サーバの指定フォルダが選ばれ、ファイル名には”カセット ID.pvd”が自動設定されます。
フォルダ変更、またはファイル名変更を行い暫定保存も可能です。

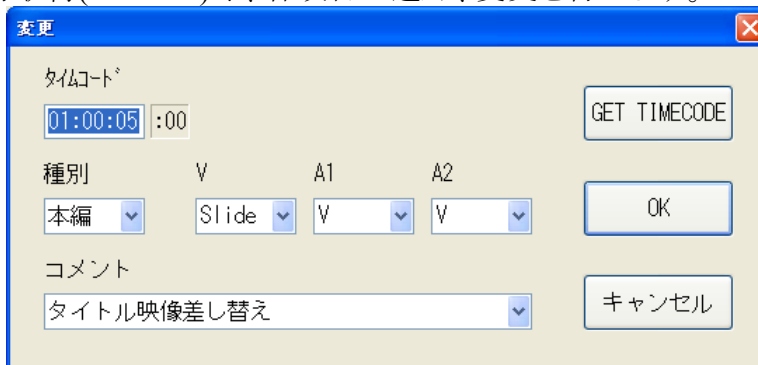


- [ファイル]-[印刷]指示で PV シートをプリンターに出力します。



[レビュー、編集]

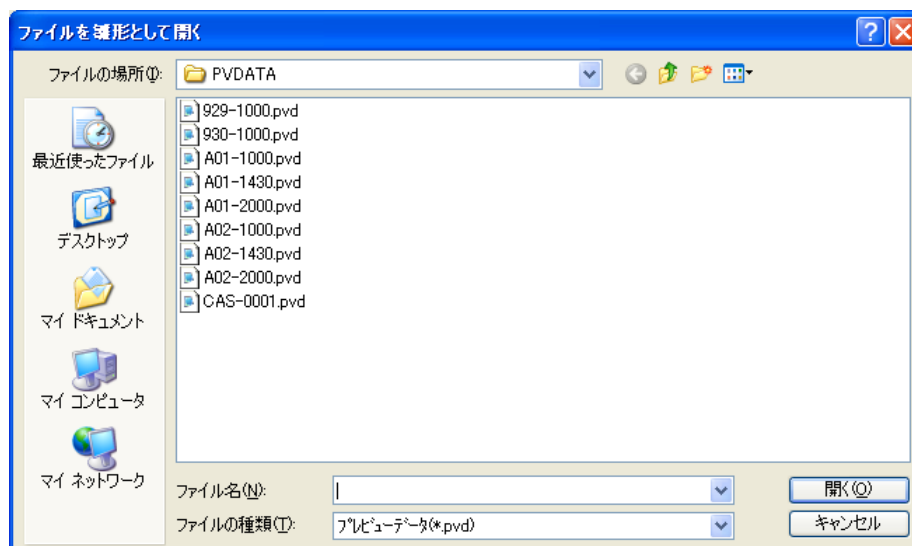
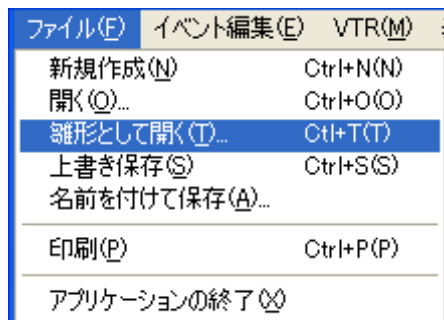
- レビューしたいイベントを選択して[CUE UP]ボタンをクリックすると、表示されているタイムコード点に頭出しされます。
- [変更]ボタンをクリック、またはイベントをダブルクリックし、ダイアログボックスでタイムコードの再取得(GET TC)や、各項目の追加、変更を行います。



3. 同様に、[追加]、[削除]ボタンをクリックすることにより追加、削除が行えます。

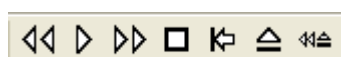
[PV データの取り込み]

登録済みのデータを変更する場合は、[ファイル]-[開く]よりカセット ID のファイルを指定して呼び出します。また雛型として利用する場合は、[ファイル]-[雛型として開く]を選択すると、カセット ID、各イベントのタイムコード値、継続時間を空白にしてデータが呼び出されます。イベントのタイムコードが空白の場合は、確認のメッセージボックスは現れませんので、F9 キーの[GET TIMECODE & NEXT]指示を利用することで、映像画面を見たままで各イベントのタイムコード取得が連続で行えます。



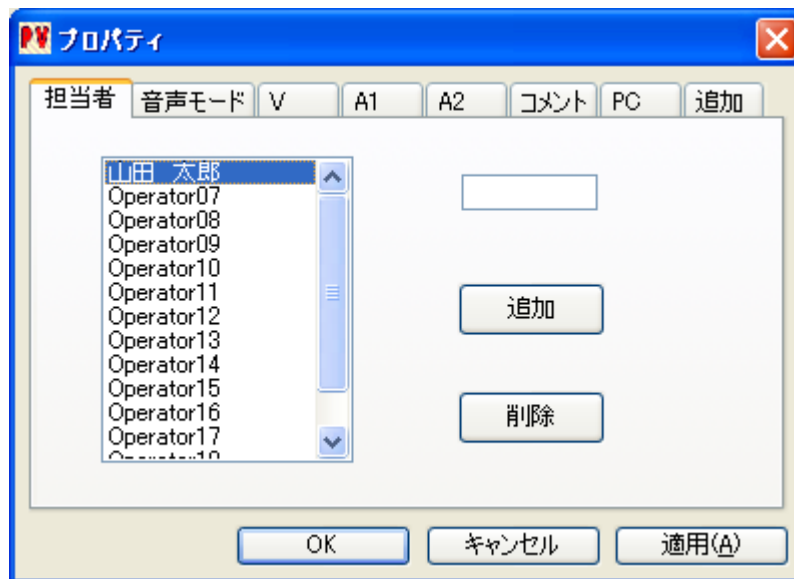
[VTR コマンド]

下図のメニュー、またはツールバーより VTR に対してコマンド発行が出来ます。

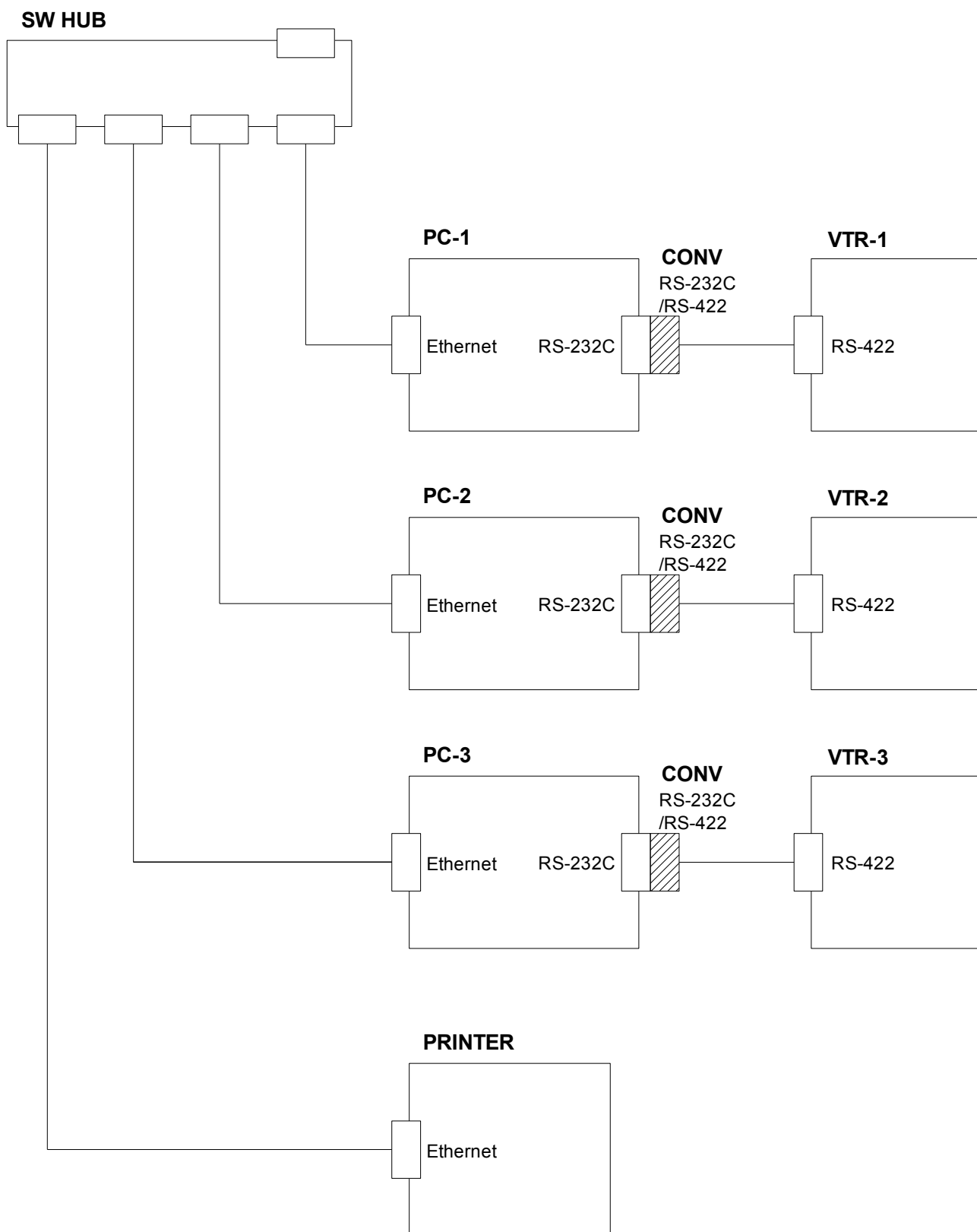


[設定]

[設定]-[プロパティ]の選択で、担当者、音声モード、V、A1、A2、コメントのコンボボックスの候補、PC の接続 VTR 名、COM ポート、サーバフォルダ、追加イベント時のデフォルト V、A1、A2 の設定が出来ます。



[システム構成例]



プレビュー専用 VTR でない場合は、VTR の前段に U-BOX など RS-422 回線切替器が必要となります。

[対応 OS]

Windows XP Professional、Windows XP Home Edition

[ディスプレイ解像度]

XGA(1024 × 768)以上

[VTR 通信プロトコル]

Sony Remote(9 Pin) Protocol

以上